人生の生き方は中指の立て方：ノーと言う事について

「嫌われたくない」「気まずい」「仲間外れにされたくない」と言う言葉が頭の中を常に駆け巡っている、あなた。本当は断りたいのに、「ノー」と言う言葉が舌の先まで来ているのに、空気や権力、群集心理に負けて「イエス」と言う言葉が、胃酸が逆流するように、口から吐き出る苦しみ。

人生とは、いかに迫り来る天使に化けた悪魔達の誘いに対して「ノー」と心の中で中指を立てる事が出来るかと言う事で大きく人生が変わって来ると思うわけです。

そして、悪魔の誘いは他人から来る物だけではなくて、自分自身の内から来る事もあるわけです。「少しだけなら…」「今日だけは…」と食欲に負けたり、他の娯楽に身を委ねる事。そんな時も、頭の中の悪魔に対して、天使の中指をお見舞いしなければならないと思うのです。

さてさて、「そんな事は分かっている！どうやって断ったら良いか分からないんだ！」と言うあなた。遅れまして、幾つか断り文句をご紹介したいと思います。

１．断る理由を述べて、他の方法を提案する

「OOだから、出来ないんだ。だけど、こう言う形でなら支援できるよ」と言う具合に相手に納得してもらう可能性を高めるために断る理由を述べた後に、気休めの提案を提案するのです。

２．スケジュール確認してから、後で連絡します

その場に流されずに、あなた自身がコミットするかしないかと言う事を検討する時間を作り出すと共に、仮に断るとしても、スケジュールを見て検討してくれたんだなと言う誠意が相手に伝わるはずです。

３．この仕事の優先順位を下げれば良いですか？

マネジメントのマの字も知らないあなたの上司があれやあれやと仕事を投げつけてきた時、今行っている事、もしくは大事な仕事の優先順位を下げてその新たな申し出を受ければ良いですか？と言う事を言えば、他の人に仕事が回される可能性が上がるでしょう。間一髪です。

もっとも、一番良い中指の立て方は「別に仕事を辞めて良い」と言う経済的な状態にある事で、そのためには副業をしたり、複数の収入源を持つと言う事にあると思いますが。

人間関係に関しては、「ノー」と言って、壊れる位だったら、最初から無いような人間関係であって、その「ノー」と言う言葉が天使に化けた悪魔の化けの皮を剥がす魔法の呪文かもしれません。

口コミお願いします～